

NM-GCOEセミナー

小川 誠司 先生

(東京大学医学部附属病院・特任准教授)

7/31

加齢研 1F

セミナー室

～骨髄異形成症候群および関連疾患のゲノム解析～



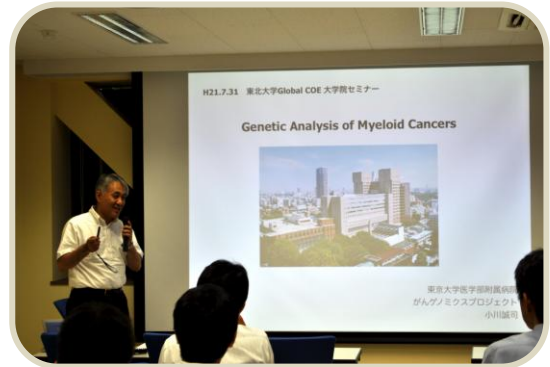
今回の講演では、小川先生がご専門にしておられる Cancer genomics に関連して、その解析手法・原理の発展を系統的に説明していただき、また具体的な解析例を交えて、最新の応用例をお話いただきました。従来のパワフルなツールであった CGH

法では解析が困難であった、コピーニュートラルな LOH のプロファイリングを小川先生が採用されてる SNP アレイは可能といたしました。造血器腫瘍のなかで、ゲノムが頻繁に不安定になることが知られている骨髄異形成症候群 (MDS) に焦点を絞り、高密度 SNP アレイを用いて新規の原因遺伝子を同定、その機能アッセイを展開し、MDS 化のメカニズムまで帰着させる一連の流れは見事としか言いようがございませんでした。Reverse genetics 的なアプローチが旺盛な現在において、小川先生の研究方針に、メディカルサイエンスの魅力的な姿を見させていただきと感しました。

昆 俊亮 (加齢研免疫遺伝子制御研究・助教)



佐竹教授による講師紹介



終始温和な語り口の小川博士



拠点教授達もご参加。皆さん熱心に耳を傾けていました。